

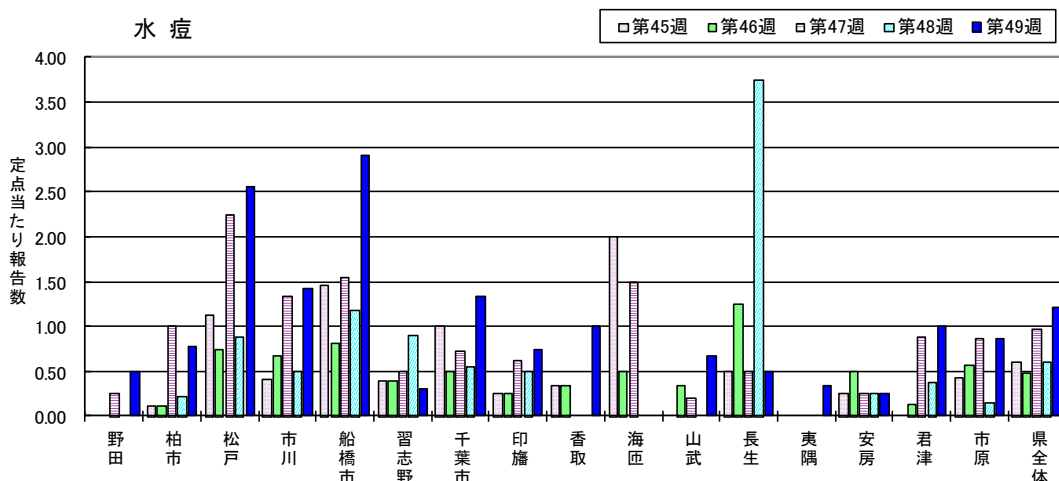
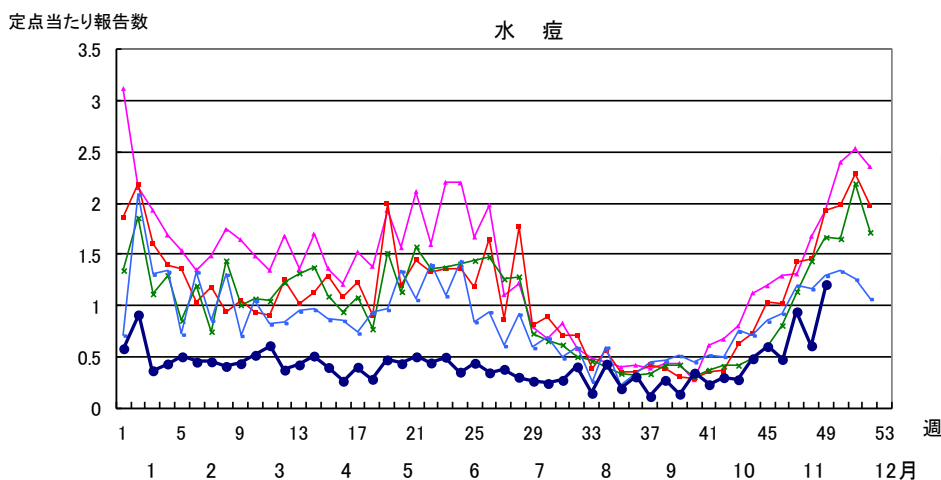
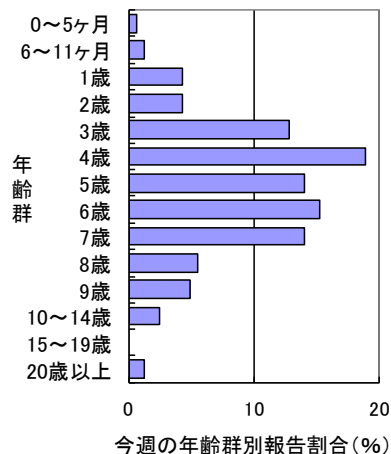
水痘

2015年49週の県全体の定点当たり報告数は、48週の0.61から増加し1.21となった。水痘ワクチンは2014年10月に任意接種から定期接種となり、2015年は報告が少ない状態で推移していたが、44週以降増加傾向を示している。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中12保健所管内で増加し、船橋市(2.91)、松戸(2.56)、市川(1.42)、千葉市(1.33)が多い。

2015年49週に報告された163例の性別は、男性95例(58.3%)、女性68例(41.7%)で、年齢群別では、3～7歳が123例で75.5%を占めていた。

水痘



水痘 (入院例に限る。)

水痘(入院例に限る。)は、水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染による感染症のうち24時間以上入院を必要とするもの(他疾患で入院中に水痘を発症し、かつ、水痘発症後24時間以上経過した例を含む。)とされ、2014年9月19日(2014年38週)から5類の全数把握疾患となった。2014年38～52週に4例、2015年1～49週に5例の合計9例の届出があり、性別では、男性5例(55.6%)、女性4例(44.4%)、年齢群別では、5歳未満が4例で44.4%を占めていた。